

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	7013-3	(H.24)No.	7013-3
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	介護老人保健施設ゆりの里(病院事業会計)		
担当部局名	担当室名	室長名	
市立病院事務局	ゆりの里(総務室)	山本 明志	

会計区分	事業コード
病院事業会計	(中事業名) 予算書事業名
款	
項	(小事業名)
目	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
看護・介護・リハビリ等が必要なお年寄りの方に適切な医療サービスを行い、自立の支援、家庭生活への復帰をめざすとともに、居宅介護支援事業者等と連携を取りながら在宅生活を支えることを目的としています。
事業内容
・施設介護サービス(入所):介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰をするために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの提供を実施。 ・通所リハビリテーション:要介護者に「ゆりの里」に通ってもらい、理学療法、作業療法、その他必要なリハビリテーションを実施。 ・短期入所療養介護:短期入所してもらい、看護、医学的管理下における介護や機能訓練、その他必要な医療や日常生活上の世話を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	施設利用サービス ・入所者(年間在在所者延べ人数) 15,824人 ・通所者(年間通所者延べ人数) 1,111人 ・短期入所者(年間利用者延べ人数) 26人	施設利用サービス ・入所者(年間在在所者延べ人数) 16,969人 ・通所者(年間通所者延べ人数) 1,952人 ・短期入所者(年間利用者延べ人数) 329人

	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
施設利用サービス	施設利用サービス ・入所者(年間在在所者延べ人数) 16,969人 ・通所者(年間通所者延べ人数) 1,936人 ・短期入所者(年間利用者延べ人数) 329人	施設利用サービス ・入所者(年間在在所者延べ人数) 16,969人 ・通所者(年間通所者延べ人数) 1,936人 ・短期入所者(年間利用者延べ人数) 329人	施設利用サービス ・入所者(年間在在所者延べ人数) 16,969人 ・通所者(年間通所者延べ人数) 1,936人 ・短期入所者(年間利用者延べ人数) 329人

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	115,963千円	101,824千円	111,940千円	111,940千円	111,940千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()	67,901	92,678	103,432	103,432	103,432
一般財源	(0) 48,062	9,146	8,508	8,508	8,508
人工数					
職員	13.90人	13.30人	13.30人	13.30人	13.30人
臨時職員等	13.40人	15.40人	15.40人	15.40人	15.40人
概算人件費	(0千円) 160,200千円	162,895千円	160,000千円	160,000千円	160,000千円
+ 総事業費	(0千円) 276,163千円	264,719千円	271,940千円	271,940千円	271,940千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
・1日平均の入所利用者数が平成23年度実績(42.2人)に対して、1.2ポイント向上した。(24年度実績 43.4人) ・1日平均の通所利用者数が平成23年度実績(4.8人)から、0.2ポイント下がった。(24年度実績 4.6人)	・入所者数については、満床での稼働を目標に当面は45人以上での常時稼働を目指して申請者への面接等を積極的に実施する。 ・通所者数については、これ以上の減少を食い止めかつ新規の利用者の獲得に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	介護が必要となった高齢者やその家族が、安心して生活していくことができるように、介護サービスの充実に取り組んでいます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	ボランティア団体や趣味の活動団体に対して発表の場を提供することにより協働を図り、またその発表の場を月々の施設行事として入所者や家族に楽しんでもらっている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	---------------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 民営化も今後の選択肢の一つではあるが、市立病院との連携を密にして公的機関のメリットを生かしながら運営を持続させていくことが最良の方法と考える。	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
---	----------------------------